

家畜衛生だより

令和6年3月号

紀北家畜保健衛生所

電話 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

電話 0739-47-0974

紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所

電話 0735-58-1481

アフリカ豚熱に注意しましょう！

アフリカ豚熱は、アフリカ豚熱ウイルスが原因で起こる豚・いのししの疾病です。これまでに、日本国内での本病の発生は確認されていませんが、世界的に感染が拡大しています。**2024年1月以降、韓国の釜山広域市の野生いのししでアフリカ豚熱の感染が持続しており、人や物を介していつ日本へ侵入してきてもおかしくありません。**

アフリカ豚熱の病状は多岐にわたりますが、現在、東欧からアジアで流行しているウイルスは甚急性～急性症状を示す遺伝子型に分類され、**感染した豚・いのししは発熱後7～10日でほぼ100%死亡します。有効な治療法およびワクチンはありません。**

以下のような異常を発見したらただちに家畜保健衛生所へ連絡してください。

- ①耳翼、下腹部、四肢等に紫斑がある。
- ②同一の畜房内において、次のいずれかの症状を示す豚等が一定期間に増加した。
〔40℃以上の発熱、元気消失、食欲減退、便秘、下痢、結膜炎（目やに）歩行困難、後躯麻痺、けいれん、削瘦、被毛粗剛、発育不良、流死産等の異常産の発生、血液凝固不全に起因した皮下出血、皮膚紅斑、天然孔からの出血、血便〕
- ③同一の畜舎内において、一定期間（概ね1週間程度）に複数の繁殖又は肥育に供する豚等が突然死亡する。



死亡



チアノーゼ

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱（40～42℃）、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

写真出典：国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

（画像引用：農水省HPより）

●アフリカ豚熱発生予防対策の重要ポイント

①人・物・車両によるウイルスの持込み防止

- ・衛生管理区域、豚舎への出入りの際の洗浄・消毒を徹底しましょう。
- ・衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用を徹底しましょう。
- ・人・物の出入りを記録しましょう。
- ・飼料に肉を含む可能性があるときは、攪拌しながら90℃・60分間以上の加熱処理を徹底しましょう。

②野生動物対策

- ・防護柵やネット等の設置による野生動物侵入防止対策を徹底しましょう。
- ・飼料保管場所等へのねずみ等の野生動物の排せつ物等の混入を防止しましょう。
- ・豚舎周囲の清掃、整理・整頓、草刈り・剪定をしましょう。
- ・死亡家畜の処理までの間、野生動物に荒らされないよう適切に保管しましょう。

